

荷堂さんのキャリアのスタートはエンジニアでした。その後マイクロソフトで製品開発の購買を担当し、購買業務の面白さに目覚めます。実績が評価され米国本社へ異動となりマネージャー職を歴任。日本帰国

後、数々の購買事業を手掛けた後、2015年8月にはコカ・コーラビジネスソーシング株式会社の代表取締役社長に就任しました。

「購買調達という仕事にはコカ・コーラのあらゆる分野、全ての組織と深く関わられる面白さがあります。製品の誕生の瞬間からお

働きやすい環境づくりも

「大学時代は、人生の中であんなに楽しかった4年間はないと言ってもいいくらい楽しみました。新しいものに対してオープンにやってみようと思う自分のポジティブな側面を伸ばしてくれたのは、香川大学だと思っています」。そう話すのはコカ・コーラビジネスソーシング株式会社代表取締役社長の荷堂真紀さん。日本のコカ・コーラシステム史上初の日本人女性社長として、国内外の注目を集める存在です。

「購買調達という仕事にはコカ・コーラのあらゆる分野、全ての組織と深く関わられる面白さがあります。製品の誕生の瞬間からお

お客様の手に届くまでの全プロセスを担当できるのが私たちです」。幅広い視野とネットワークを持ち、コカ・コーラシステムに対してベストな提案を考え、提供できるのが仕事の醍醐味という荷堂さん。業務を通して世界中のコカ・コーラシステムで活躍する人財を育てるのも夢の一つだと語ります。

「担当教員の岡本教授(当時)のもと、時に突拍子もないアイデアを制限なく研究させてもらえました。カラーバーコードの読み取りをやりたいと提案した時も、岡本教授は「カラーバーコードを音符と連動させて楽譜をバーコード化したらどうだろう」と面白がってくださり、それが私の卒論になったのです」。

エンジニアから購買・調達の世界へ

世界で活躍する人財が育つ場所に

香川の風土の中でなんでも挑戦を

臆さず、さまざまなかじにチャレンジする



仕事に必要な英語は「好きな映画を繰り返し見てセリフを覚え込んで」学んだそう。当時は話す英語が主人公のメグ・ライアンにそっくりだったとか。

同社が取扱う資材の一部。その他、PETボトルの「ペコらくボトル」、ピークソフト自販機など、環境に配慮した資材・機材も日本で企画開発されています。



ことにチャレンジしてほしいと荷堂さん。「失敗しても何一つ無駄になりませんから」と言う笑顔には、オープンな心を持って挑戦してきた方ならではの力強い信念が感じられました。



コカ・コーラビジネスソーシング株式会社
代表取締役社長

荷堂 真紀

Maki Kado

かどう まき

香川大学工学部卒業。日本電気(株)、United Feature Syndicate Inc.、現日本マイクロソフト(株)、マイクロソフトコーポレーション(米国本社)、(株)セールスフォース・ドットコムを経て、2014年コカ・コーライーストジャパン(株)に入社。2015年コカ・コーラビジネスサービス(株)代表取締役社長。2015年8月コカ・コーラビジネスソーシング(株)代表取締役社長に就任。

コカ・コーラビジネスソーシング株式会社

2015年8月設立。製品の製造販売を行うボトリング会社に対し、PETボトル・缶・キャップ・包装材・甘味料等の資材や原材料、自動販売機・ディスプレイ・車両等の販売機器や間接材を調達し、日本のコカ・コーラシステムを支える。
東京都港区赤坂六丁目1番20号 国際新赤坂ビル西館 4F